

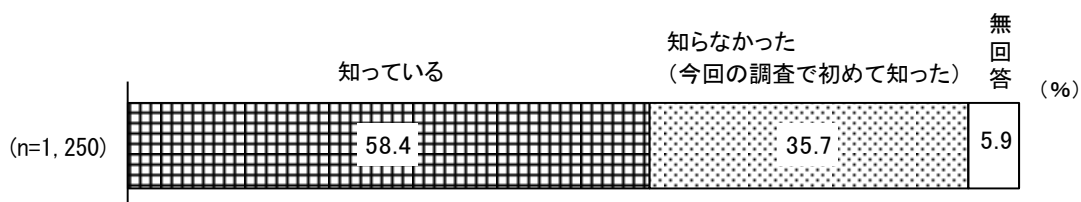
## 第11章 アルコール依存症に対する意識【問36～問40】

### 1 適度な飲酒量【問36】

#### 【全体の状況】

適度な飲酒量を知っているか尋ねたところ、「知っている」は58.4%となった。  
一方、「知らなかった（今回の調査で初めて知った）」は35.7%であった。（図表11-1-1）

図表11-1-1 適度な飲酒量



#### 【地域別の状況】

地域別にみると、「知っている」は、相模原が68.9%で最も多く、次いで横須賀三浦が65.3%となった。

一方、「知らなかった（今回の調査で初めて知った）」は、県央が47.0%で最も多かった。（図表11-1-2）

#### 【性・年代別の状況】

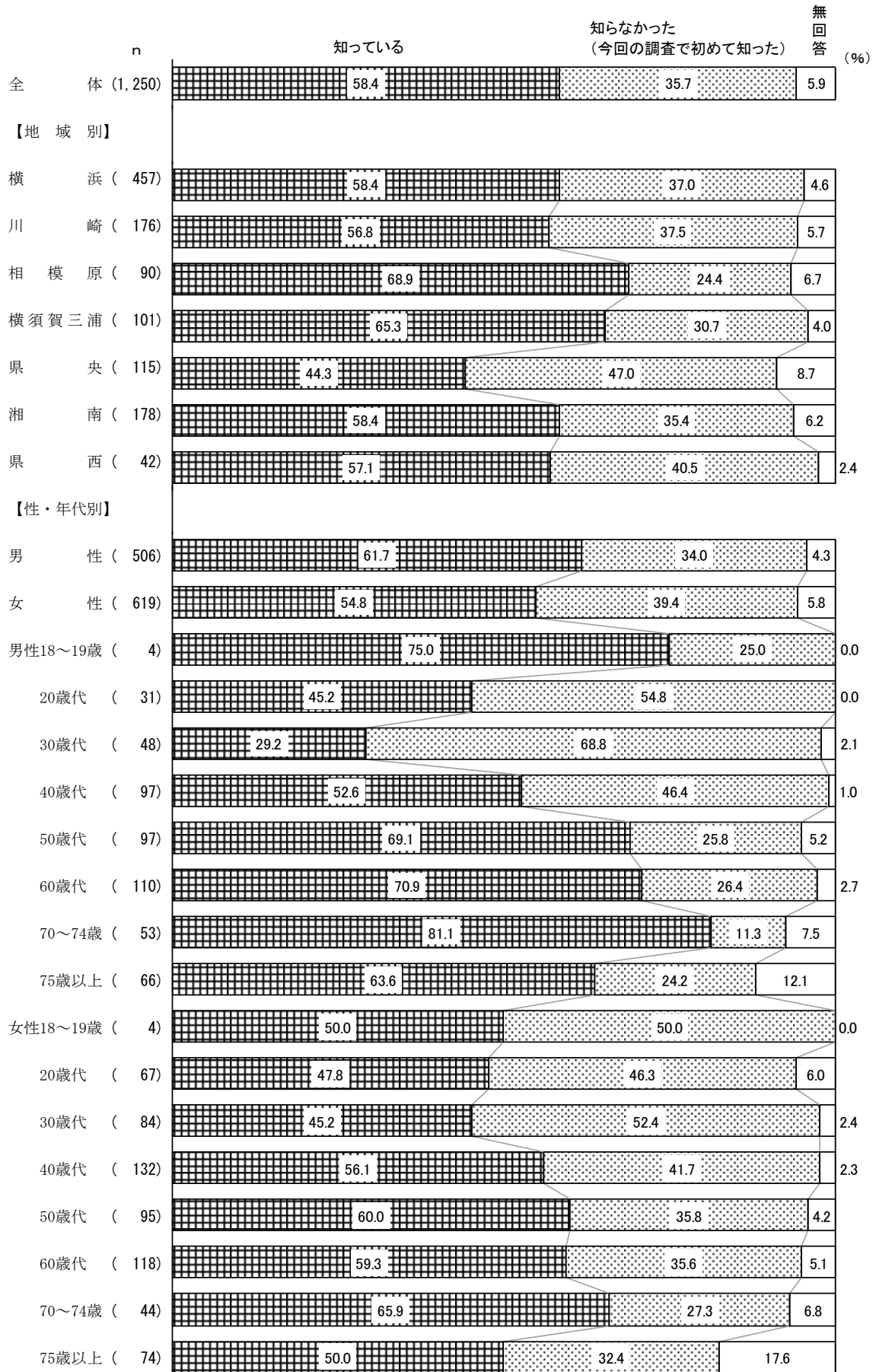
性別にみると、「知っている」は、男性（61.7%）が女性（54.8%）を6.9ポイント上回った。

性・年代別にみると、「知っている」は、男性の70～74歳が81.1%で最も多かった。

一方、「知らなかった（今回の調査で初めて知った）」は、男性の30歳代が68.8%で最も多かった。

（図表11-1-2）

図表11-1-2 適度な飲酒量—地域別、性・年代別

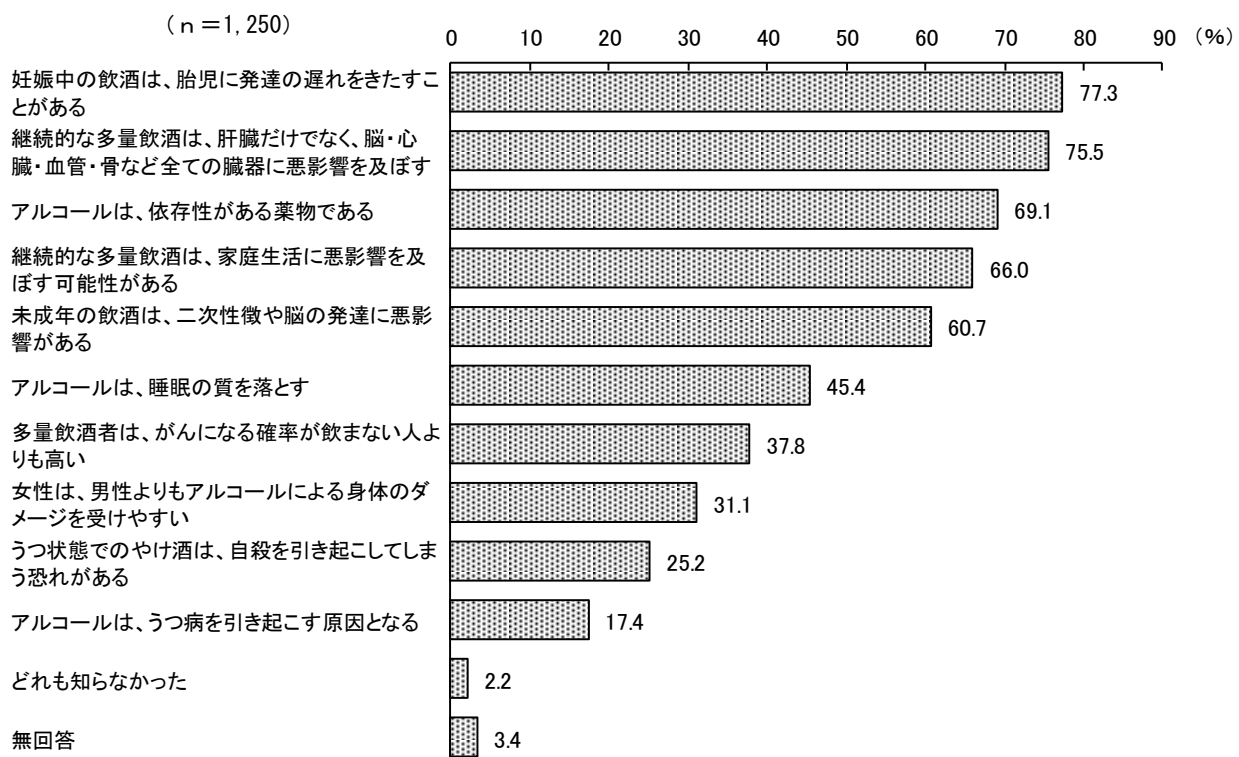


## 2 アルコールについて知っているもの【問37】

### 【全体の状況】

アルコールについて知っているものを複数回答で尋ねたところ、「妊娠中の飲酒は、胎児に発達の遅れをきたすことがある」(77.3%)と「継続的な多量飲酒は、肝臓だけでなく、脳・心臓・血管・骨など全ての臓器に悪影響を及ぼす」(75.5%)がともに7割台が多かった。(図表11-2-1)

図表11-2-1 アルコールについて知っているもの（複数回答）



### 【地域別の状況】

地域別にみると、「妊娠中の飲酒は、胎児に発達の遅れをきたすことがある」は、相模原が82.2%で最も多く、次いで川崎が81.3%と多かった。また、「継続的な多量飲酒は、肝臓だけでなく、脳・心臓・血管・骨など全ての臓器に悪影響を及ぼす」は相模原が82.2%で最も多かった。(図表11-2-2)

### 【性・年代別の状況】

性別にみると、「妊娠中の飲酒は、胎児に発達の遅れをきたすことがある」は、女性(84.7%)が男性(70.0%)を14.7ポイント上回った。

性・年代別にみると、「妊娠中の飲酒は、胎児に発達の遅れをきたすことがある」は、女性の30歳代が94.0%で最も多く、次いで女性の70～74歳が90.9%で多かった。「アルコールは、依存性がある薬物である」は、男性の70～74歳が84.9%で最も多かった。(図表11-2-2)

図表11-2-2 アルコールについて知っているもの（複数回答）－地域別、性・年代別

(%)

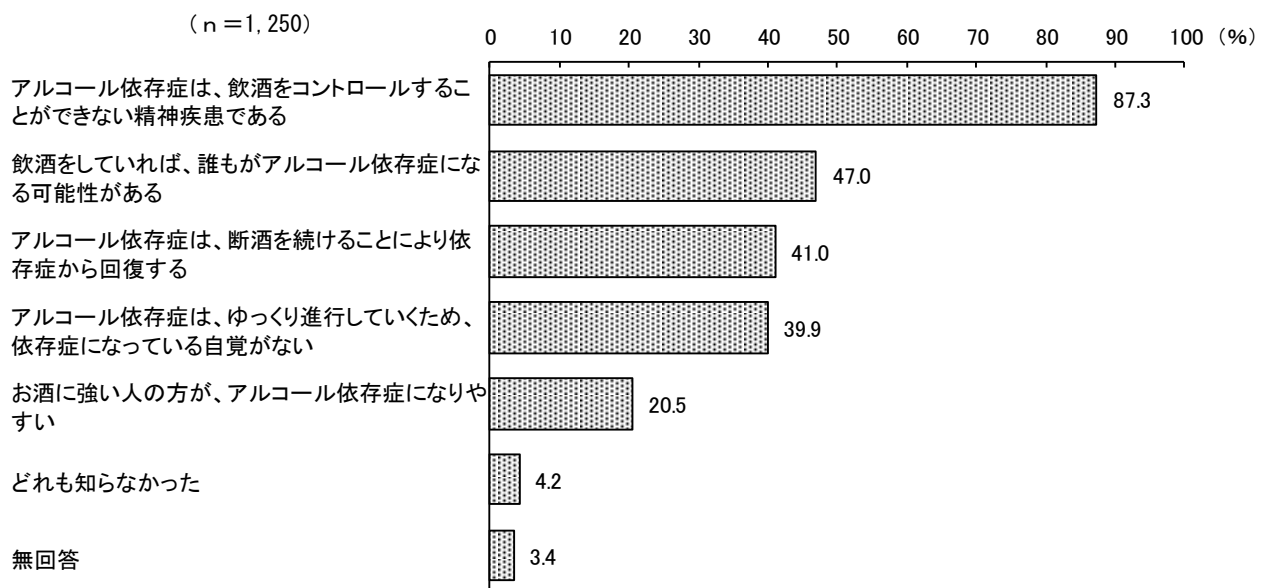
	n	妊娠中の飲酒は、胎児に発達の遅れをきたすことがある	継続的な多量飲酒は、肝臓だけでなく、脳・心臓・血管・骨など全ての臓器に悪影響を及ぼす	アルコールは、依存性がある薬物である	継続的な多量飲酒は、家庭生活に悪影響を及ぼす可能性がある	未成年の飲酒は、二次性徴や脳の発達に悪影響がある	アルコールは、睡眠の質を落とす	多量飲酒者は、がんになる確率が飲まない人よりも高い	女性は、男性よりもアルコールによる身体のダメージを受けやすい	うつ状態でのやけ酒は、自殺を引き起こしてしまう恐れがある	アルコールは、うつ病を引き起こす原因となる	どれも知らなかった	無回答
全 体	1,250	77.3	75.5	69.1	66.0	60.7	45.4	37.8	31.1	25.2	17.4	2.2	3.4
【地 域 別】													
横 浜	457	78.3	77.0	69.1	66.3	60.0	47.7	38.7	31.9	25.6	16.8	1.3	2.4
川 崎	176	81.3	73.9	71.6	64.8	65.9	47.2	42.0	29.0	28.4	18.8	3.4	4.5
相 模 原	90	82.2	82.2	76.7	67.8	63.3	51.1	33.3	27.8	22.2	25.6	-	2.2
横 須 賀 三 浦	101	75.2	64.4	67.3	74.3	59.4	40.6	26.7	25.7	17.8	10.9	2.0	3.0
県 央	115	77.4	74.8	73.0	70.4	64.3	43.5	33.9	33.0	30.4	16.5	0.9	5.2
湘 南	178	74.7	78.1	66.9	64.6	62.4	43.8	42.7	38.8	27.0	18.0	4.5	1.7
県 西	42	73.8	76.2	59.5	61.9	35.7	40.5	47.6	21.4	26.2	16.7	2.4	2.4
【性・年代別】													
男 性	506	70.0	78.3	71.3	66.8	55.7	45.1	40.7	25.3	26.7	18.0	2.2	2.6
女 性	619	84.7	74.0	67.9	66.9	65.1	47.0	36.0	36.3	25.5	17.6	1.9	3.1
男性18～19歳	4	50.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	-	-	50.0	25.0	-	-
20歳代	31	71.0	77.4	74.2	64.5	64.5	48.4	48.4	25.8	29.0	25.8	6.5	-
30歳代	48	72.9	72.9	60.4	62.5	62.5	64.6	33.3	12.5	29.2	18.8	6.3	4.2
40歳代	97	75.3	71.1	63.9	56.7	58.8	45.4	35.1	19.6	27.8	17.5	3.1	1.0
50歳代	97	77.3	83.5	69.1	69.1	50.5	49.5	39.2	25.8	32.0	19.6	1.0	3.1
60歳代	110	70.0	81.8	73.6	67.3	57.3	44.5	40.9	30.9	20.9	17.3	0.9	1.8
70～74歳	53	69.8	81.1	84.9	75.5	58.5	39.6	54.7	26.4	28.3	20.8	-	1.9
75歳以上	66	50.0	77.3	77.3	74.2	43.9	25.8	43.9	33.3	21.2	10.6	1.5	6.1
女性18～19歳	4	75.0	75.0	75.0	25.0	75.0	25.0	50.0	-	-	-	25.0	-
20歳代	67	83.6	77.6	73.1	62.7	73.1	55.2	46.3	26.9	29.9	16.4	1.5	3.0
30歳代	84	94.0	75.0	75.0	71.4	79.8	67.9	36.9	35.7	35.7	28.6	1.2	1.2
40歳代	132	87.9	72.7	67.4	67.4	67.4	58.3	39.4	35.6	25.8	18.2	-	0.8
50歳代	95	86.3	73.7	64.2	67.4	69.5	48.4	33.7	34.7	24.2	16.8	1.1	4.2
60歳代	118	81.4	75.4	68.6	66.1	61.0	36.4	28.8	38.1	15.3	14.4	2.5	2.5
70～74歳	44	90.9	75.0	56.8	70.5	45.5	27.3	36.4	36.4	20.5	11.4	2.3	-
75歳以上	74	68.9	68.9	64.9	66.2	50.0	24.3	33.8	48.6	32.4	16.2	5.4	10.8

### 3 アルコール依存症について知っているもの【問38】

#### 【全体の状況】

アルコール依存症について知っているものを複数回答で尋ねたところ、「アルコール依存症は、飲酒をコントロールすることができない精神疾患である」が87.3%で最も多く、次いで「飲酒をしていれば、誰もがアルコール依存症になる可能性がある」が47.0%であった。(図表11-3-1)

図表11-3-1 アルコール依存症について知っているもの（複数回答）



#### 【地域別の状況】

地域別にみると、「アルコール依存症は、飲酒をコントロールすることができない精神疾患である」は、県西 (92.9%)、相模原 (92.2%)、県央 (90.4%) がそれぞれ9割を超えて多かった。また、「飲酒をしていれば、誰もがアルコール依存症になる可能性がある」は、川崎 (51.7%)、湘南 (50.6%)、県西 (50.0%) がそれぞれ5割以上となった。(図表11-3-2)

#### 【性・年代別の状況】

性別にみると、「飲酒をしていれば、誰もがアルコール依存症になる可能性がある」は、男性 (49.6%) が女性 (45.9%) を3.7ポイントわずかに上回った。

性・年代別にみると、「アルコール依存症は、飲酒をコントロールすることができない精神疾患である」は、サンプル数の少ない男性の18～19歳を除くと、男性の60歳代 (94.5%)・70～74歳 (90.6%)、女性の30～50歳代 (91.6%～92.9%) がそれぞれ9割を超えて多かった。また、「アルコール依存症は、断酒を続けることにより依存症から回復する」は、男性の75歳以上が56.1%で最も多く、次いで女性の70～74歳が50.0%となった。(図表11-3-2)

図表11-3-2 アルコール依存症について知っているもの（複数回答）－地域別、性・年代別

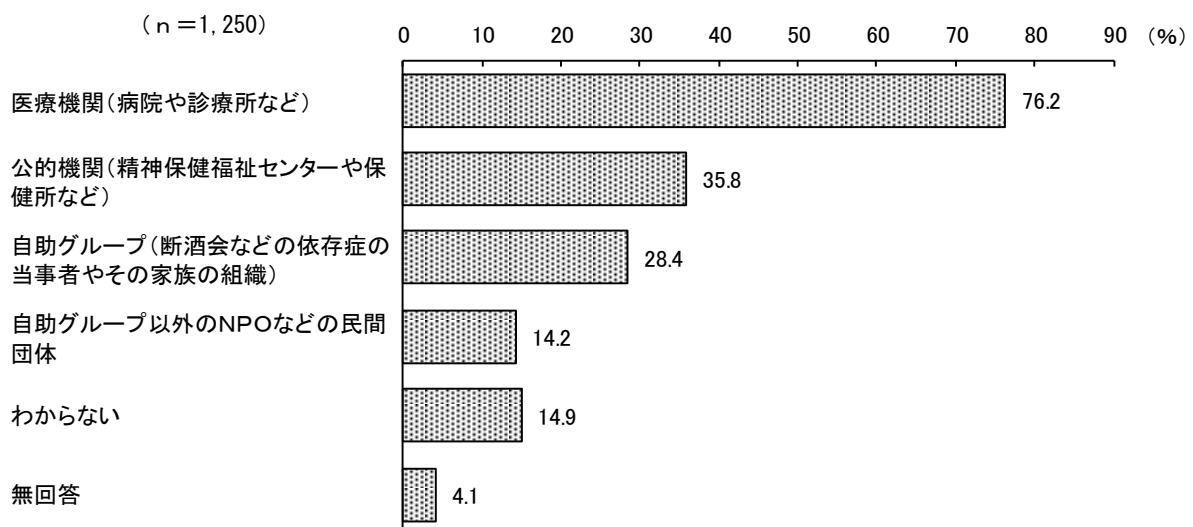
		(%)							
	n	アルコール依存症がある疾患である	アルコール依存症になれば、誰もがアルコールを断る可能性がある	アルコール依存症は、断酒を続ける	アルコール依存症は、断酒を続ける	アルコール依存症は、断酒を続ける	アルコール依存症は、断酒を続ける	アルコール依存症は、断酒を続ける	アルコール依存症は、断酒を続ける
全体	1,250	87.3	47.0	41.0	39.9	20.5	4.2	3.4	
【地域別】									
横浜	457	88.4	45.5	39.6	40.3	20.1	4.8	2.0	
川崎	176	85.8	51.7	44.9	45.5	22.7	4.0	4.5	
相模原	90	92.2	48.9	41.1	43.3	22.2	1.1	3.3	
横須賀三浦	101	81.2	39.6	41.6	34.7	17.8	5.0	5.0	
県央	115	90.4	47.8	34.8	34.8	20.0	2.6	3.5	
湘南	178	87.1	50.6	42.7	39.3	21.9	4.5	2.2	
県西	42	92.9	50.0	38.1	38.1	16.7	2.4	2.4	
【性・年代別】									
男性	506	86.8	49.6	39.3	41.5	24.1	5.3	2.4	
女性	619	89.0	45.9	41.2	38.6	17.8	3.1	3.1	
男性18～19歳	4	100.0	25.0	25.0	25.0	-	-	-	
20歳代	31	74.2	51.6	25.8	61.3	45.2	16.1	-	
30歳代	48	79.2	60.4	31.3	33.3	29.2	10.4	2.1	
40歳代	97	86.6	47.4	27.8	28.9	18.6	8.2	1.0	
50歳代	97	84.5	56.7	40.2	46.4	23.7	6.2	3.1	
60歳代	110	94.5	51.8	44.5	41.8	18.2	0.9	1.8	
70～74歳	53	90.6	49.1	43.4	47.2	30.2	1.9	1.9	
75歳以上	66	84.8	31.8	56.1	45.5	25.8	1.5	6.1	
女性18～19歳	4	75.0	50.0	25.0	25.0	25.0	25.0	-	
20歳代	67	85.1	64.2	34.3	49.3	17.9	1.5	3.0	
30歳代	84	92.9	64.3	32.1	38.1	19.0	2.4	1.2	
40歳代	132	92.4	50.0	40.9	32.6	15.9	0.8	0.8	
50歳代	95	91.6	43.2	41.1	40.0	22.1	3.2	3.2	
60歳代	118	89.0	33.9	47.5	37.3	14.4	2.5	3.4	
70～74歳	44	86.4	31.8	50.0	43.2	11.4	6.8	-	
75歳以上	74	81.1	31.1	43.2	39.2	23.0	6.8	10.8	

#### 4 アルコール依存症に関する相談場所として知っているもの【問39】

##### 【全体の状況】

アルコール依存症について、相談できる場所として知っているものを複数回答で尋ねたところ、「医療機関（病院や診療所など）」が76.2%で最も多かった。また、「わからない」は、14.9%であった。（図表11-4-1）

図表11-4-1 アルコール依存症に関する相談場所として知っているもの（複数回答）



##### 【地域別の状況】

地域別にみると、「医療機関（病院や診療所など）」は、湘南が80.9%で最も多く、次いで川崎が80.1%と多かった。また、「公的機関（精神保健福祉センターや保健所など）」は、全地域（33.3%～36.6%）で3割台であった。（図表11-4-2）

##### 【性・年代別の状況】

性別にみると、「自助グループ（断酒会などの依存症の当事者やその家族の組織）」は、女性（33.6%）が男性（21.5%）を12.1ポイント上回った。

性・年代別にみると、「医療機関（病院や診療所など）」は、男性の30歳代（81.3%）・60歳代（81.8%）・70～74歳（81.1%）、女性の20歳代（80.6%）・40歳代（80.3%）・70～74歳（81.8%）でそれぞれ8割を超えて多かった。また、「公的機関（精神保健福祉センターや保健所など）」は、男性の70～74歳が50.9%で最も多かった。（図表11-4-2）

図表11-4-2 アルコール依存症に関する相談場所として知っているもの（複数回答）  
—地域別、性・年代別

		(%)					
	n	医療機関 (病院や診療所など)	公的機関 (精神保健福祉センター や保健所など)	自助グループ (断酒会などの依存 症の当事者やその家族の組織)	民間団体 自助グループ以外の NPOなどの	わからない	無回答
全 体	1,250	76.2	35.8	28.4	14.2	14.9	4.1
【地 域 別】							
横 浜	457	76.4	35.0	28.0	13.3	14.7	2.6
川 崎	176	80.1	34.7	33.0	22.2	12.5	4.0
相 模 原	90	74.4	35.6	31.1	10.0	15.6	4.4
横 須 賀 三 浦	101	79.2	36.6	31.7	12.9	11.9	5.9
県 央	115	72.2	36.5	21.7	13.9	19.1	6.1
湘 南	178	80.9	36.0	25.3	12.9	12.4	2.8
県 西	42	71.4	33.3	28.6	14.3	21.4	2.4
【性・年代別】							
男 性	506	78.1	37.0	21.5	14.6	14.4	3.0
女 性	619	76.9	33.9	33.6	14.1	14.5	3.7
男性18～19歳	4	75.0	25.0	-	-	25.0	-
20歳代	31	74.2	38.7	6.5	12.9	19.4	-
30歳代	48	81.3	35.4	20.8	16.7	16.7	2.1
40歳代	97	76.3	28.9	15.5	14.4	14.4	2.1
50歳代	97	73.2	35.1	23.7	14.4	18.6	3.1
60歳代	110	81.8	40.0	24.5	17.3	11.8	2.7
70～74歳	53	81.1	50.9	37.7	20.8	7.5	5.7
75歳以上	66	78.8	36.4	18.2	6.1	13.6	4.5
女性18～19歳	4	-	-	-	-	100.0	-
20歳代	67	80.6	23.9	23.9	10.4	14.9	3.0
30歳代	84	76.2	31.0	35.7	19.0	15.5	2.4
40歳代	132	80.3	33.3	29.5	15.2	13.6	0.8
50歳代	95	77.9	35.8	41.1	20.0	15.8	3.2
60歳代	118	76.3	36.4	36.4	8.5	13.6	3.4
70～74歳	44	81.8	40.9	43.2	13.6	13.6	-
75歳以上	74	70.3	39.2	29.7	12.2	9.5	14.9



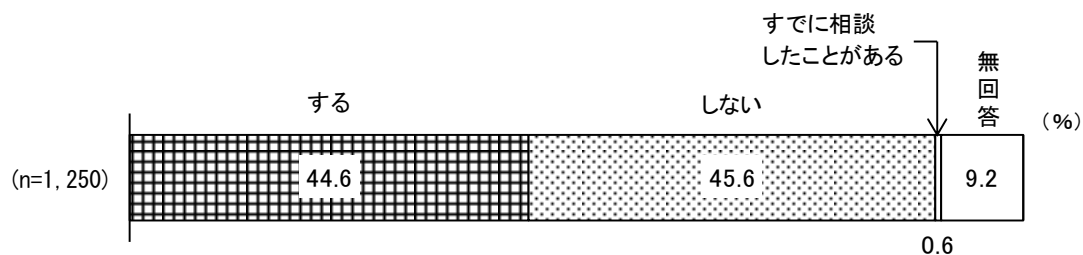
## 5 アルコール依存症についての相談希望【問40】

### 【全体の状況】

アルコール依存症について相談場所を知っていれば相談するか、またはすでに相談したことがあるか尋ねたところ、「する」は、44.6%であった。

一方、「しない」は、45.6%であった。(図表11-5-1)

図表11-5-1 アルコール依存症についての相談希望



### 【地域別の状況】

地域別にみると、「する」は、相模原が50.0%で最も多かった。

一方、「しない」は、県西が50.0%で最も多く、横浜（49.9%）と県央（49.6%）が続いた。

(図表11-5-2)

### 【性・年代別の状況】

性別にみると、「しない」は、男性（55.1%）が女性（39.9%）を15.2ポイント上回った。

性・年代別にみると、「する」は、サンプル数の少ない女性の18～19歳を除くと、女性の40歳代（50.8%）・50歳代（56.8%）・60歳代（55.9%）・70～74歳（56.8%）がそれぞれ5割を超えた。

一方、「しない」は、サンプル数の少ない男性の18～19歳を除くと、男性の30歳代が62.5%で最も多かった。(図表11-5-2)

図表11-5-2 アルコール依存症についての相談希望—地域別、性・年代別

